

キシラデコール®
Xyladecor



キシラデコール 家庭用

検索

携帯・スマートフォン
からアクセス!

製造販売： **大阪ガスケミカル株式会社**

 **0120-124-123** 平日 9:00~17:30 (土日祝日・その他当社休業日を除く)

FAX 06-4393-0054

ホームページ <https://www.xyladecor.jp/>

〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスビル

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目6番1号 日本橋本町プラザビル4階

LINE@はじめました!

[ID検索]
@xyladecor



情報をLINEでお届けします。
LINEの【友達追加】から【ID検索】または【QRコード】で登録してください。

提携先 AkzoNobel

キシラデコール、コンゾランは AkzoNobel 社の登録商標です。

Daigas
Group

大阪ガスグループは、
Daigas グループへ。

キシラデコール®

50 SINCE 1971
Anniversary

塗り方上手

長持ちの秘訣、
お伝えします。



木を守り、くらしを守る木材保護塗料

キシラデコール



木材は、かけがえのない 地球からの贈りもの。

地球環境の保全が全世界の課題となっているいま、
「木材」という素材の素晴らしさがあらためて見直されています。
木材は金属や人工素材に比べて
環境への負荷がきわめて少ない“エコ素材”。
私たちが暮らしに木材を積極的に取り入れて
大切に使い続けることは、地球環境を守ることにもなるのです。



木のパートナー
キシラデコール®

CONTENTS

油性

●50年以上の実績が語る
プロが認めた仕上がりで耐久性。

浸透

●文化財から住宅まで。
新築から塗り替えまで。
木材保護塗料の決定版。



日本建築学会
建築・設備メーカー
ランキング
2020
木材保護塗料部門
15年連続 1位
消費者庁長官に、建材・設備メーカーの
製品が環境省の省エネルギー推進
2020年11月30日号



キシラデコール®

P.11

油性

●ナチュラルで透明感のある仕上がり。
●和風建築・社寺建築の白木仕上げに。

浸透



キシラデコール®
白木 やすらぎ®

P.13

水性

●油性キシラデコールと同等の優れた防腐・防カビ・防虫効果。

●雨や日光による劣化・退色に強く、
長時間に渡って鮮やかさを維持。

浸透

●ハケさばきがよく、用具の後始末も水洗いでOK。
●水性タイプなので臭いが少なく、塗装作業も快適。



キシラデコール®
エクステリア

P.14

水性

●高耐久性・水性・造膜タイプ。

●塗膜に柔軟性と通気性があるのでフレににくく、ムレにくい。

●塗膜が木に密着してフクレににくく、優れた防腐・防カビ・
防虫効果を発揮。

半造膜

●色つきが良く、古材や濃い色の木材も明るく仕上がり、
改修にも最適。



キシラデコール®
ウッドコート

P.15

水性

●屋内外で使用できる、環境にやさしい水性ペイント。

●塗膜に柔軟性がありフレにくい。

●塗膜に通気性があるためムレにくい。

造膜

●塗膜が木に密着してフクレにくい。

●日本全国で使用実績があり、優れた耐久性が確認されている。



高耐久性水性ペイント
Consolan®
コンソラン

P.16

●屋外の木材塗装の基礎講座 P.5

●木材保護塗料性能比較表 P.10

●キシラデコールシリーズ商品の紹介 P.11

●塗装手順 P.17

●我が家のDIYガーデン自慢 P.21

●屋外の木材塗装の豆知識 P.27

●よくあるお問い合わせ Q&A P.33



木材には、きれいな木目や手触りなど、他の素材には無い温もりがあります。

屋外の木材は紫外線や雨、カビや害虫などで劣化・変色するので、しっかりしたケアが必要になります。そういう時には、木材保護塗料を塗装してメンテナンスするのが最適です。

日焼けして痛んだ木。



紫外線・雨

早期に表面が灰色に変色します。



カビ

高温多湿の環境で発生し、美観を損ねます。



腐朽菌

日陰で湿度の高い場所で繁殖。強度の低下に繋がります。



害虫

被害にあうと、美観も強度も著しく低下します。

こんな場所には、木材保護塗料を。

木材保護塗料を施すべき場所はさまざま。

ログハウスや伝統的な木造家屋の場合は、家屋の外側の広範囲に渡ります。

またウッドデッキやウッドテラスを始め、ラティスやフェンス、ガーデン家具など、最近のガーデニングによく使われる木製用品にも塗装が必要です。

これらの部位や家具にはすでに塗装が施されている場合も多いですが、

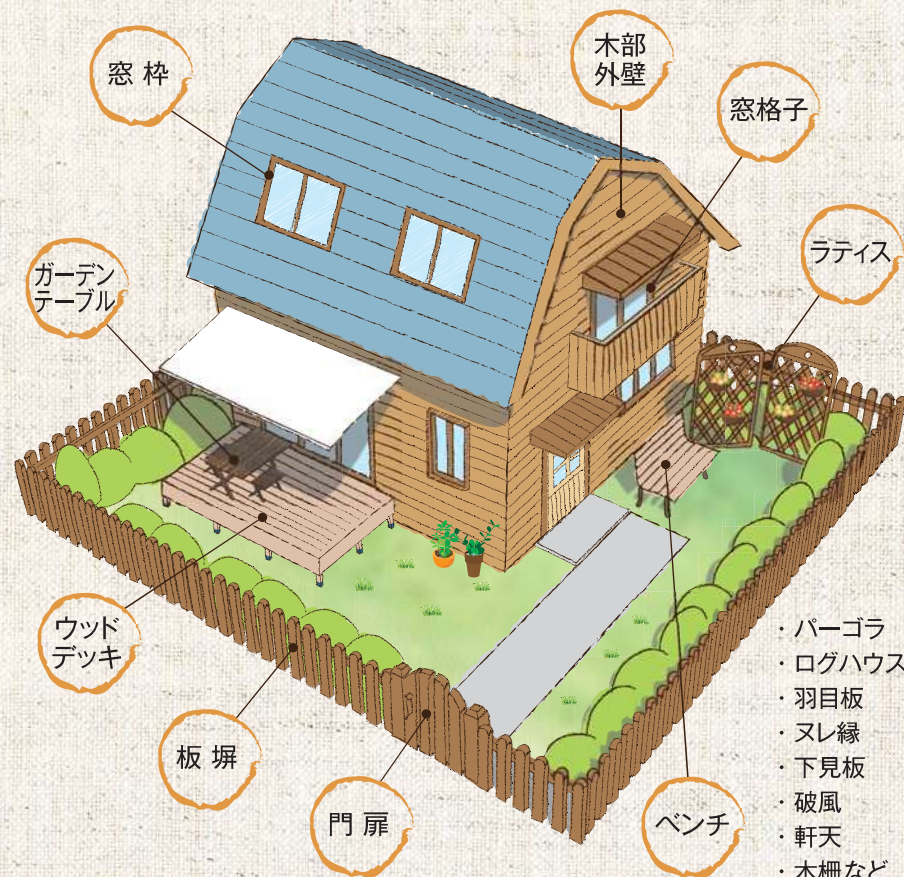
塗料の保護効果は年月の経過とともに低下するため、

一般に3～5年に一度は塗り替え・再塗装をおすすめします。

※塗装面の傷み具合、立地条件、方角、建物の構造や木材の種類などによって塗り替え時期は異なります。



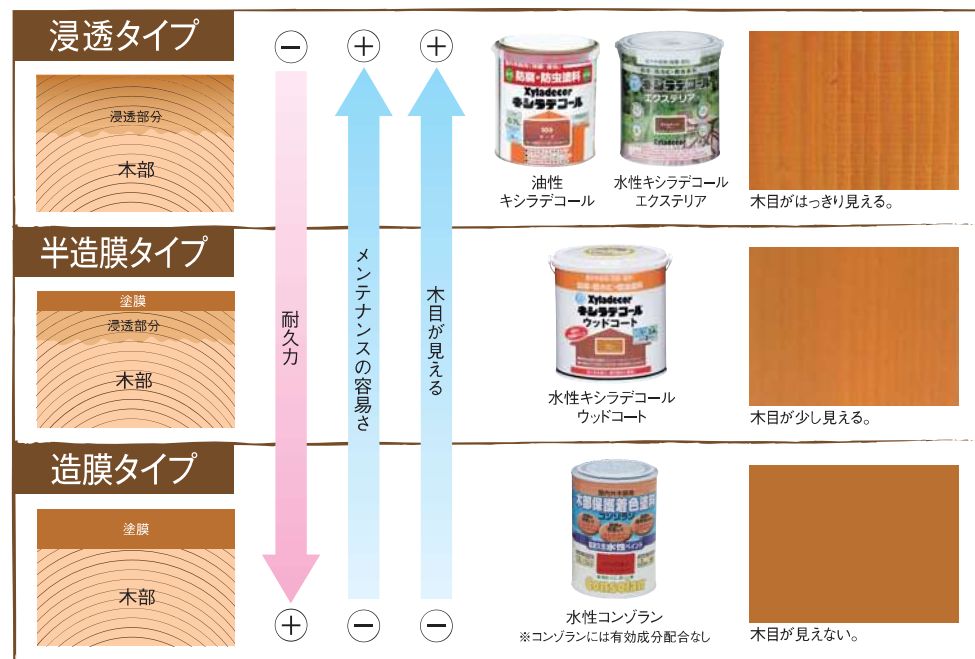
こんな場所をチェックしてみてください



塗装前に 屋外の木材塗装の 基礎講座

木材保護塗料には
「浸透タイプ」「半造膜タイプ」
「造膜タイプ」の3種類があります。

木材保護塗料は、表面にほとんど塗膜を作らず、木材の中に浸透する「浸透タイプ」と、木材の表面に薄い塗料の膜（塗膜）を作る「半造膜タイプ」、厚い膜を作る「造膜タイプ」に大きく分かれます。また名前は同じ「木材保護塗料」であっても、有効成分（木材防腐剤・防カビ剤・防虫剤）などが配合されている塗料があり、種類および容量は製品によって異なります。塗装の際には、それぞれの塗料の特徴を知った上で目的に合ったものを選びましょう。



※イラストはイメージです。

塗装前に

よくあるトラブル要因

キシラデコールのような、
浸透タイプの塗料を塗装する場合に発生する
トラブルの主な原因は次のとおりです。

- 使用前のかき混ぜ（攪拌）が不十分な場合。
- 下地の色に影響を受けた場合。
- たくさん水分を含んだ木材へ塗装した場合。
- 塗り重ねの回数が不足している場合。
- 低温時（5℃以下）または、高湿度（相対湿度 85% 以上）での塗装。
- 塗り重ね時の乾燥不足。



エンバイロ先生

よくかき混ぜて（攪拌して）から使用しよう！

キシラデコールのような浸透タイプの塗料は、着色剤として顔料が含まれており、これらの顔料粒子が缶の底に沈殿しています。使用前のかき混ぜ（攪拌）が不十分な場合、上澄み液を塗装することとなり、実際より薄い色に仕上がってしまいます。



使用前は逆さまにしてよく振ってください。



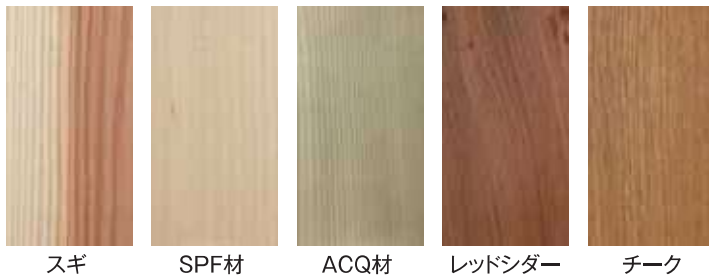
十分に混ざらない場合は棒でかき混ぜてください。使用中も定期的によくかき混ぜてください。

仕上がりの色は 下地によって変わる!

キシラデコールのような浸透タイプの塗料は、下地の色に影響を受けますので、木の種類や使用年数（新材、古材）、塗り替え回数などによって、仕上がりが塗装見本色と異なることがあります。

木の種類

仕上がりは、
木材そのものの下地の色に
影響されます。



スギ

SPF材

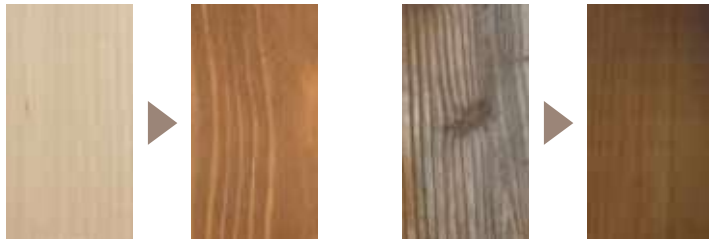
ACQ材

レッドシダー

チーク

新材・古材

色合いは、
木材の新材・古材で
異なってきます。



新材

見本と同じ仕上がりになる。

古材

薄い色はくすんだ仕上がりになる。

塗装回数

色調は、
塗り替え回数が多いほど
濃く仕上がります。



初めての塗装

見本と同じ仕上がりになる。

3回目の塗り替え

見本より濃い仕上がりになる。

試し塗り
しましょう!



よく乾燥させてから塗装しよう

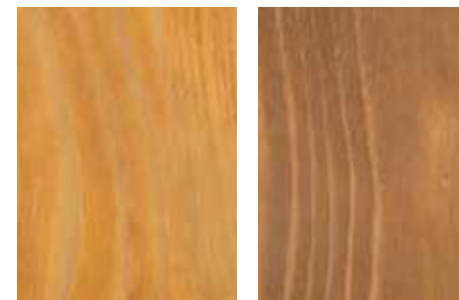
十分な塗装効果を発揮させるには、よく乾燥させるのがポイントです。降雨・降雪などの天候による湿度の影響や水洗い後の乾燥が不十分なうちに塗装すると、塗料の吸込みが悪く、きれいに仕上がりだけでなく、十分な保護効果が得ることができません。雨の直後の塗装作業や、水洗いしてすぐに塗装することは避けましょう。

低温時、高湿度の場合、 塗装は控えましょう

低温時（5℃以下）または高湿度（相対湿度85%以上）の場合においては、塗装はお控えください。木材が湿っていると塗料の吸込みが悪くなり、仕上がりや保護効果にも影響してしまいます。

塗装は2回塗りが基本!

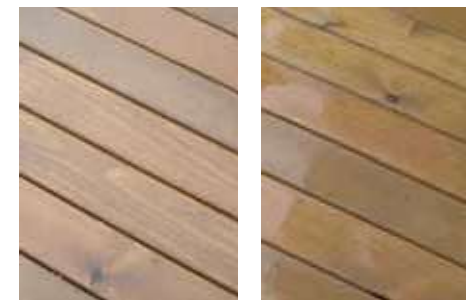
塗料は一般的に2回塗りの商品が多く、キシラデコールも2回塗りすることで本来の性能が発揮されます。塗り重ねの回数が不十分な場合には塗装見本色より薄く仕上がるだけでなく、十分な保護効果が得ることができません。



1回塗り

2回塗り

晴れた日に
塗りましょう!



乾燥した木材

水分を多く含んだ木材

重ね塗りは乾いてから

乾燥時間をきちんと守らずに未乾燥のうちに重ね塗りをすると、乾燥時間がより長引くことがありますのでご注意ください。重ね塗りは指で触っても塗料がつかない程度まで乾燥させてから行ってください。

よく
乾いてから
2回目を
塗りましょう!



ホームセンターには
色々な種類の塗料がありますが、
大きく3つのタイプに分かれます。



START

屋外の木部に耐久性のある
塗料を塗装したい

はい

木目を生かす

はい

木材が日焼けしてしまっている
または色が濃くなってしまっている

いいえ

はい

いいえ

いいえ

浸透
タイプ

初心者向け



木目を生かした仕上がり
木部に有効成分(木材防腐剤・防カビ剤・防虫剤)が浸透して効果を発揮します。塗膜を作らないので割れたり、剥がれたりすることがなく、塗り替えが簡単です。水性キシラデコールエクステリアは、ガーデン家具、スノコ・木箱等、比較的小さな面積の木製品への塗装に適しており、初心者の方にもお手軽にご使用いただけます。

半造膜
タイプ



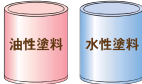
古い木材の塗り替えにおすすめ
浸透タイプにはできなかった、木目を生かしつつ濃い色から明るい色に塗り替えができます。

造膜
タイプ



特殊な塗膜でよみがえる強さと美しさ
一般的な造膜タイプは、早期に塗膜のワレ・ハガレが発生し、次に塗装する際には古い塗膜を除去しなければなりません、コンソランは特殊な性能で抜群の高耐久を誇ります。

一般的な
塗料



※店頭によって、お取扱いのない商品もございますがご了承ください。
※キシラデコールエクステリア、キシラデコールウッドコートは、一部店舗ではノリ付袋にて取り扱っております。容器デザインは異なりますが中身はまったく同一のものです。

あなたはどれを選びますか？

木材保護塗料 性能比較表

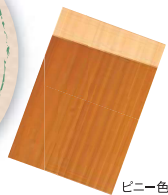
商 品	水性 油性	タイプ	木目の 見え方	防腐 防カビ 防虫 効果	耐久性 (塗り替えの 目安)	メンテナンス の容易さ
 キシラデコール	油性	浸透 (内部に浸透)	◎	◎	◎ 3~5年	○
 キシラデコール 白木 やすらぎ	油性	浸透 (内部に浸透)	◎	◎	◎ 3~5年	○
 キシラデコール エクステリア	水性	浸透 (内部に浸透)	◎	◎	◎ 3~5年	○
 キシラデコール ウッドコート	水性	半造膜 (明るく仕上がる)	○	◎	◎ 5~6年	△
 高耐久水性ペイント Consolan コンソラン	水性	造膜 (木目を隠す)	×	—	◎ 5~8年	×
一般的な木材保護塗料 (株式会社カンベハビオ製 「木部保護塗料」を参考にしています。)	油性	浸透	◎	○	○ 2~3年	○
	水性	浸透	◎	○	○ 1~2年	○

※塗り替えの目安は塗装素材、塗装面の環境状況により変化しますのでご注意ください。
※「メンテナンスの容易さ」とは、下地処理や掃除などの作業全般を指します。
※防虫の対象はヒラタキクイムシなどの木材害虫です。シロアリ、アリ、ハチなどは対象外です。
※立地条件や周辺環境、建物の構造などにより、早期に塗装面の退色・変色ならびにカビ、木材害虫、木材腐朽菌などによる汚染、加害を生じる場合があります。

仕上がり、耐久性、扱いやすさなどから
最適な塗料をお買い求めください。



木目を生かした
浸透
タイプ



油性



キシラデコール

世界のプロが愛用する 高性能木材保護塗料。

木材保護塗料に求められる木の自然な風合いを生かす美しい仕上がり・防腐・防カビ・防虫性・耐候性・通気性のすべての性能をハイレベルで実現します。欧米では木材保護塗料の「定番」となっており、日本でも数多くの文化財や公共施設などで使用されています。



宇治橋〈京都府〉



熊本城〈熊本県〉

抜群の「保護性能」と、
仕上りの「美しさ」が、
全国で選ばれています。



高山市町並み
〈岐阜県〉

「耐候性」「耐久性」「防腐・防カビ・防虫効果」「美観」
すべてにおいてハイグレード。



キシラデコール#103チーク使用

特長

木部に深く浸透、内部からガード。

木材表面に塗膜を作らない浸透タイプの塗料です。有効成分(木材防腐剤・防カビ剤・防虫剤)の優れた効力により木部を長期にわたって保護します。

木目を生かす、自然な仕上がり。

塗装後も木目がくっきり。
木の自然な美しさを引き立てます。

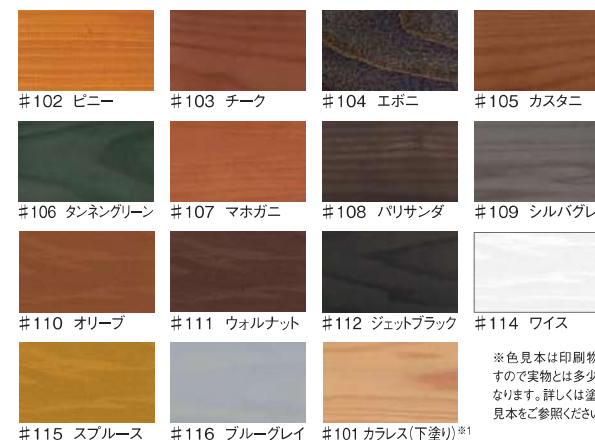
日光・風雨から、長時間守り続ける。

耐候性も抜群。日光による劣化・退色にも強いいため、長期にわたって木材を風化から保護します。

初心者にも優しい、塗りやすい。

ハケさばきが非常に良く、塗りムラもでにくいので、塗装初心者でも簡単に美しく仕上げるができます。

木の自然な風合いを生かす
豊富なカラーバリエーション(全15色)



※色見本は印刷物ですので実物とは多少異なります。詳しくは塗装見本をご参照ください。

※1 キシラデコールカラレス(#101)は、有色キシラデコールの下塗り剤として設計されており、防腐・防カビ・防虫成分は含まれていますが、紫外線をカットする顔料が含まれておらず、日焼けや変色を防止できないため、クリヤーとしての単独使用は避けください。

容量・塗り面積(2回塗りの合計量)

0.7L	2.3~3.5㎡	量 約2枚分
1.6L	5.3~8㎡	量 約5枚分
3.4L	11.2~17㎡	量 約10枚分
7L	23~35㎡	量 約21枚分
14L	46~70㎡	量 約42枚分

乾燥時間

塗り重ね乾燥時間	6時間以上
乾燥時間	約24時間

※塗り重ね乾燥時間は、気温20℃、湿度65%、木材含水率18%の条件を示します。
※状況によっては乾燥に24時間以上かかることがあります。

用途

・ガーデンテーブル・バーゴラ・ラティス・窓枠・ヌレ縁
・門扉・ウッドデッキ・木部外壁・ベンチ・ログハウス
・羽目板・板塀・下見板・破風・軒天・木柵など



「白木の味わい」を、 屋外でも楽しみたい。

痛みやすい屋外木部を劣化からしっかりと守りつつ、白木ならではのナチュラルな風合いを長く楽しみたい。そんなのがままを可能にしてくれるのが「キシラデコール白木やすらぎ」。白木造りに親しんできた日本人ならではのニーズに応えた、新タイプの保護塗料です。

無塗装と比べてこんなに違う！



高野神社(滋賀県)

油性

キシラデコール® 白木 やすらぎ®



特長

キシラデコールと同等の優れた防腐・防カビ・防虫効果。

独自技術による優れたUV(紫外線)カット効果。

初心者でも簡単に塗れる高い作業性。

容量・塗り面積(2回塗りの合計量)

0.7L	2.3~3.5㎡	量	約2枚分
1.6L	5.3~8㎡	量	約5枚分
3.4L	11.2~17㎡	量	約10枚分
7L	23~35㎡	量	約21枚分
14L	46~70㎡	量	約42枚分

乾燥時間

塗り重ね乾燥時間	6時間以上
乾燥時間	約24時間

※塗り重ね乾燥時間は、気温20℃、湿度65%、木材含水率18%の条件を示します。
※状況によっては乾燥に24時間以上かかることがあります。

用途

・羽目板・下見板・破風・窓枠・門扉・戸袋
・窓格子・雨戸・ヌレ縁・鼻かくし・ルーバー
・白木部位・ドア・軒天など



油性キシラデコールと 同等の優れた防腐・ 防カビ・防虫効果を発揮。

油性と同等の優れた効果を発揮し、雨や日光による劣化・退色に強く、長時間にわたって鮮やかさを保ちます。また水性タイプですので臭いも少なく、塗装作業が快適に行えます。ハケさばきがよく、用具の後始末も水洗いでOKです。

水性

キシラデコール® エクステリア



豪雪地域での比較試験 どちらも3年半後も美観を維持！



長野県白馬村のスキー場ロッジ

きびしい環境でも高耐久性を発揮する、
美しいカラーバリエーション(全10色)



※色見本は印刷物ですので
実物とは異なることがあります。

容量・塗り面積(2回塗りの合計量)

0.4L	1.6~2.4㎡	量	約1.5枚分
0.7L	2.8~4.2㎡	量	約2枚分
1.6L	6.4~9.6㎡	量	約5枚分
3.4L	13.6~20.4㎡	量	約10枚分
14L	56~84㎡	量	約42枚分

乾燥時間

塗り重ね乾燥時間	4時間以上
乾燥時間	4時間以上

※塗り重ね乾燥時間は、気温20℃、湿度65%、木材含水率18%の条件を示します。
※状況によっては乾燥に24時間以上かかることがあります。

用途

・ガーデンテーブル・バーゴラ・ラティス・窓枠
・ヌレ縁・門扉・ウッドデッキ・木部外壁・ベンチ
・板塀・木柵など

塗り替えにオススメ!
半造膜
タイプ

水性



キシラデコール
ウッドコート

特殊な塗膜(半造膜)で
明るく仕上がり高耐久!

塗膜の3大特長(柔軟性・通気性・密着性)により、業界最高クラスの耐久性を発揮します。
また、色つぎが良く、古材や濃い色の木材でも明るく上げることができ、塗り替えに最適です。

業界最高クラスの高耐久と仕上がり

業界最高クラスの高耐久!



明るく仕上がる!



豊富なカラーバリエーション(全13色)



容量・塗り面積(2回塗りの合計量)

0.7L 4.3~6.4㎡ 量 約3枚分
3.4L 20.8~31.3㎡ 量 約12枚分

乾燥時間

塗り重ね乾燥時間 2時間以上
乾燥時間 2時間以上

※塗り重ね乾燥時間は、気温20℃、湿度65%、木材含水率18%の条件を示します。
※状況によっては乾燥に24時間以上かかる場合があります。

用途

・ガーデンテーブル・バーゴラ・ラティス・窓枠
・スレ縁・門扉・ウッドデッキ・木部外壁・ベンチ・板塀・木柵など

強くしなやかな塗膜
造膜
タイプ

水性



高耐久水性ペイント
Consolan
コンソラン

強く、しなやかな
塗膜が木部を守る。

鮮やかなヨーロッパ調カラー。
鮮やかな色彩が魅力のヨーロッパ生まれの水性塗料。柔軟・強靱でかつ通気性に富んだ塗膜が、長期間にわたって、ひび割れ・膨れ・剥がれから木部をしっかりと守ります。

コンソラン耐候試験結果

(使用色:ビニー)



個人宅

特長

塗膜が非常に柔軟で木材の伸縮に順応。ひび割れが生じません。

通気性に富んだ塗膜が水蒸気を逃がすので膨れもほとんど生じません。

木材への密着性が非常に高いため、長期間にわたって剥離が起こりません。

環境基準のきびしいヨーロッパで開発された安全性の高い水性塗料です。

豊富なカラーバリエーション(全14色)



容量・塗り面積(2回塗りの合計量)

0.5L 2.7~3.3㎡ 量 約1.5枚分
1L 5.5~6.5㎡ 量 約3枚分
2L 11~13㎡ 量 約6枚分
4L 22~26㎡ 量 約12枚分

乾燥時間

塗り重ね乾燥時間 2時間以上
乾燥時間 2時間以上

※塗り重ね乾燥時間は、気温20℃、湿度65%、木材含水率18%の条件を示します。
※状況によっては乾燥に24時間以上かかる場合があります。

用途

・羽目板・下見板・破風・窓枠・戸袋・窓格子
・ログハウス・ラティス・ウッドプランターなど

浸透
タイプ

塗装手順

該当商品／

浸透



キシラデコール

浸透



キシラデコール
白木 やすらぎ

浸透



キシラデコール
エクステリア

必要に応じてご準備ください

●塗装前に準備すること



養生



※ハケは油性用、水性用がありますのでご注意ください。

●十分にかき混ぜよう



かき混ぜ方はP.6をご参照ください。

缶の開封と塗料の移し替えの仕方

「ペロ」を使用すれば、よりスムーズに塗料を注ぐことができます。使用方法は、ペロを装着後に缶を写真のように内向きに傾けてバケツなどの容器に塗料を移し替えてください。



塗料の移し替えは、「石油ポンプ」を使用すると、こぼさずに注ぐことができます。

丸缶は「皮スキ」などを使用して開けます。ふたの隙間に尖った方を差し込んで押しながら、持ち手を斜めに上下させて開封してください。



早めの塗り替えが長持ちさせるポイントです。

1

下地の調整



きれいな仕上がりに、入念な「下地の調整」が重要です。はじめにサンドペーパーで毛羽などを取る下地処理をします。表面全体に軽くサンドペーパーを掛けると塗装ムラが防げます。汚れや削りカスなどはボロ布などでしっかり拭き取ります。塗装面に塗膜をはるタイプの塗料が残っている場合は、古い塗膜をしっかりと取り除いておくことがポイントです。



広い面は電動サンダーで



広い面のサンドペーパー掛けは電動サンダーを使えば便利です。使用の際は、ホコリが飛び散りますので必ずマスクを着用しましょう。

2

養生 (マスキング)



塗料が付くと困る金具などの箇所は、マスキングテープやポリマスカーでカバーします。



養生には
ポリマスカーが便利



テープとシートが一体になっており、一度に広範囲の養生ができます。

3

細かい所の 塗装



床板の隙間はスキマ用ベンダーを使うと便利です。スミや境目などを油性バケで塗ります。塗装初心者は、広い面や表面などの塗りやすい所を最初に塗ってしまいがちですが、基本は「裏側や隙間、細かい所などの塗りにくい場所」から塗り始めます。

4

広い面の 塗装



広い平面はコテバケにつぎ柄をつけて塗ると、モップ感覚でスイスイと塗り広げることができます。色つきが悪い所、摩耗の激しい所は重ね塗りして仕上げましょう。

▼汚れが目立つ・色あせが激しいなど劣化が始まる前に **3～5年** ごとに塗り替えましょう!

※塗装面の傷み具合、立地条件、方角、建物の構造や木材の種類などによって塗り替え時期は異なります。
※ウッドデッキやベンチなどの平面部位は、摩擦による色落ちが早いので、塗り替え時期が早くなります。



BEFORE



AFTER

半造膜タイプ 造膜タイプ

塗装手順

該当商品／

半造膜



キシラデコール
ウッドコート

造膜



高耐久水性ペイント
Consolan
コンソラン

必要に応じてご準備ください

●塗装前に準備すること



●十分にかき混ぜよう



かき混ぜ方はP.6をご参照ください。

※ハケは水性用をご用意ください。

木部塗装の手順を守って美しい仕上がりに!

1 塗装準備



汚れやごみを拭き取ってサンドペーパーなどで下地処理します。下に養生シートを敷いて、塗料が垂れても大丈夫なようにしてから始めましょう。

2 塗装作業



テーブルなどの塗装は「まず裏面から」が基本。筋交いバケで塗っていきます。床面に触れる足の裏側は傷みが始まりやすい部分ですので特に念入りに。裏面が塗れたら、表面を塗装します。木の端(木口)も忘れずに。1回目の塗装が終了したら2時間以上乾燥(指で触っても塗料がつかなくなるまで乾燥)させた後、2回目の塗装を行います。

塗装前



全体に塗装の色があせ、ひび割れなど木材の傷みが始まっています。脚部には藻が発生しています。

3 塗装完了



傷みが進んでいた脚部もきれいに仕上がりました。
※塗料が衣服につかないように、ウエスなどで乾拭きしてからご使用ください。

上手な塗装のためのポイント

きれいな仕上がりは
下地が決め手!
特に古い木材は念入りに
研磨しましょう。



塗り替えの場合は、サンドペーパーなどで旧塗膜や劣化した木材繊維を十分に除去してください。除去が不十分な場合は旧塗膜や劣化した木材繊維とともに塗膜が剥がれる場合があります。

塗装面に撥水性が残っていた場合は、
塗料がはじかれることがあります。
その際はサンドペーパーなどで
塗装面を十分研磨してください。



撥水性が残っている塗装面

自分達で育て造った花木や DIY 作品のある庭を眺めながら くつろぐ時間がとても幸せです！



富田さんご夫妻

夫婦ともにDIYはまったくの趣味です。
仕事柄、簡単な設計図は描くようにしています。
この庭はまだまだ製作途中で、これから何年もかけて
ゆっくり作り続けようと思っています。



庭にとけ込むように木部のデッキやテーブル、
フェンスを造り、ナチュラル&ノスタルジックにまとめています。
木工部分を私、花や緑の植物や雑貨を妻と、
それぞれの得意分野を生かした仕上がりです。

GALLERY



ベンチ

ウッドデッキのベンチとおそろいに作りました。カラーは
2色のコンビにして、足元を軽い感じに仕上げました。



カントリー調フェンス

飾り棚には吊りフックを配し、ハンギングバスケットやリースなどが飾
れます。グリーンや花の色を引き立てるカラーです。



室外機カバー

素朴&丈夫で長持ちな木の箱をイメージして作りまし
た。花や緑の飾り台や小物置き場としても使えます。



和モダンも取り入れた塀

面積が広いので材料代を抑えつつ、デザイン的には格子組みな
どを工夫しました。緑や花の背景としての機能も持たせています。

キシラデコールを選んだ理由

DIYは、家を新築した際にウッドデッキを手づくりしたのがきっかけです。花壇や花木等、少
しずつ庭づくりを始めました。自作のものはちょっと無骨ですが手づくりならではの温もり
が感じられるところが魅力です。キシラデコールを最初にした理由は、何といっても絶
大な信頼と多くの実績によるものです。すばらしい耐候性と作業性が気に入り、今もずっと
使い続けています。

手づくりの喜びを味わいながら オリジナルの木工作品で ガーデニングを満喫しています。



松田 三保子さん

物作りが好きで、手芸店で働いています。
趣味はガーデニングで、植物の手入れや
ガーデン小物作りを楽しんでいます。
今後、アーチや木製扉なども作ってみようと模索中です。



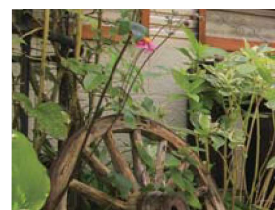
2012年に完成し、今やわが家のシンボルであるガーデンベンチ。

父が一週間かけて製作し、私がペイントを担当。

バランスを考えながら雑貨を飾り付けました。

リビングからは目で楽しむことができ、庭仕事の合間にはお茶をするなど、
憩いの場として活用しています。

GALLERY



車輪と窓

花壇にマッチする車輪にカラレスを塗装し、
オイルステイン仕上げをして配置しました。



ボード

元は木箱だったものを解体して余すところなくリメイク。廃材のスノコと合体させて白くペイントしました。庭のあちこちにデザイン違いのボードが付いています。



2段シェルフ

父の指導を受けて作った、わが家の木工第1号です。下段は引き出しに見立てて飾り取っ手を付けています。



3段シェルフ

ガーデン雑貨を置く目的で製作しました。ポインツは、側板の二段目と三段目を丸くカットしたデザインです。

キシラデコールを選んだ理由

キシラデコールのことは姉に教わりました。姉がイーゼルに植え込んだ植物に水やりをしており、そのイーゼルが抜群の水はじきだったので話を聞くと「キシラデコールを塗装している」とのことでした。また、実家の木工作品にもキシラデコールが塗られています。2～3年くらいなら色あせもなく、防虫防腐にも優れているので一度もメンテナンスをしたことがないそうです。以来、すっかりキシラデコールを信頼し、植物と木工作品に囲まれてガーデニングライフを満喫しています。

大好きなオートバイを中心に、
趣味を存分に楽しめるスペースを
作っています。



服部 秀明さん

「趣味を最大限に楽しめるスペースづくり」をテーマに、
自己流の日曜大工でDIYを楽しんでいます。
小さいスペースを効率良く活用できるよう目指しています！



キシラデコール
エクステリア



オートバイいじりを中心に、趣味が広がるスペースを作りました。
休みの日にはオートバイのメンテナンスをしたり、
カフェコーナーからオートバイを眺めたり、楽しい時間を過ごしてます

GALLERY



ベンチ

手づくりのベンチに、使用感が出るようにムラを出しながら塗装。塗り方を工夫して、良い味が出ました。



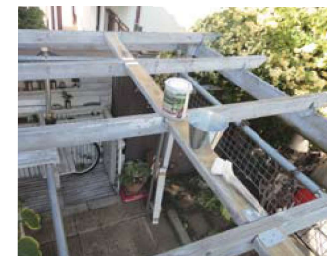
ファニチャー

庭を飾るファニチャーにもキシラデコールを使用。風景にも
マッチし、木材を塗るには最高の塗料だと改めて感じました。



イルミネーション

クリスマスにはツリーとイルミネーションで装飾。壁や柱をワイスで
塗装。緑のツリーとイルミネーションがよく映えます。



バーゴラ

完成から5年が経過し、キシラデコールのワイス
色で防腐処理。薄く塗る部分と濃く塗る部分で
メリハリを付けています。

キシラデコール エクステリアを選んだ理由

バーゴラの腐食を気にしていた頃、近くのホームセンターで水性のキシラデコールエクステリアを発見。イメージチェンジも兼ねて、塗りやすく防腐性能にすぐれたキシラデコールの水性版で塗装することにしました。使ってみると、とにかく木材に染み込む感じが良く、間違っても垂らした塗料も水ですぐ流せば取れるので、とても重宝しました。これからも塗料はキシラデコールで決まりです。

屋外の木材を劣化や 変色させる要因と症状

じつは、屋外の木材は傷みやすい。

天然素材として数々の優れた特性を備えた木材ですが、一方で天然素材ゆえの“弱点”を持っています。

特に屋外に置かれた木材は、想像以上にたくさんの「敵」の脅威にさらされています。

例えば紫外線や雨、カビや腐朽菌などの微生物、木を食害する害虫…。

美しい木材も、こうしたさまざまな「外敵」によって変色したり、強度が落ちたりすることがしばしば。

ここに挙げたようなケースは、きっと皆さんの身近にも見られるのではないのでしょうか。

●日光・雨による「風化」

木材は日光に当たると色褪せや変色が起こります。これは木材を構成する成分（リグニンやヘミセルロース）が太陽の紫外線で分解されるためです。分解した木材成分が雨で流され、表面がでこぼこになるとともに、風で運ばれる砂や土、ほこりなどの摩耗作用で風化がさらに進みます。



豪雪地帯では、劣化や色褪せのダメージも深刻です。

日光・雨



紫外線と雨にさらされ、表面が灰色に変色・風化してしまったラティス。

●腐朽菌・カビによる「生物汚染」

湿度の高い場所に結露しやすい環境にある木材は、腐朽菌やカビの絶好のエサです。特に高温多湿の日本は、こうした「生物汚染」を受けやすい条件にあります。見た目には健全に見える木材にも多くの菌が付着しており、条件が揃えば、「腐れ」や「カビ」の被害を受けるおそれがあります。



腐朽菌

腐朽菌の被害にあった木材。日陰で湿度の高い場所に放置されるとこうした被害が起こりやすくなります。



カビ

柱に生えた黒カビ。美観を著しく損ねます。

●木材害虫による「食害」

「木材害虫」もまた木材の脅威。幼虫が木材の内部を食い荒らすキクイムシをはじめ数種類があり、いずれも内部から木部を食い荒らすため、被害に気づきにくい、厄介な存在です。また台所、浴室、洗面所などの水回りの床下や壁の中などはシロアリの被害にも注意する必要があります。



害虫

木材害虫の被害を受けた柱。幼虫が内部を食い荒らすので、美観だけでなく強度も著しく低下してしまいます。

●その他の木材劣化要因

木材の劣化や変色を引き起こす要因は、ほかにも木材の内部からしみ出すヤニ、木材に打ち込んだ釘の成分が溶け出したシミ、木材に生える藻類などいろいろ。とにかく「屋外の木材は、何もケアしないとすぐに劣化・変色してしまう」ことを認識しておく必要があります。



ヤニ

ヤニが染み出した板壁。



藻

藻の発生した板壁。

屋外の木材を美しく保つには どうしたらいいの？

常にたくさんの脅威にさらされ、劣化・変色しやすい屋外の木材。美しい状態を維持するには、それぞれの劣化原因に対応した日常的なケアや適切なメンテナンスが必要になります。

屋外の木材を 長持ちさせる基本

◎ こまめに掃除する ◎

木材表面についたほこりやごみは、カビや微生物の栄養源になります。被害を防ぐために「こまめな掃除」が大切です。

◎ 風通しを良く ◎

腐れやカビの予防には風通しが大切。特に被害を受けやすい床下部分は十分な換気口を確保しましょう。支柱や木柵などを直接土に埋め込むのも禁物です。

◎ 水分を残さない ◎

木材表面についた水分は、木の成分を溶かし出すとともに、カビや腐朽菌が繁殖する原因にもなります。雨の後などは水滴を丁寧に拭き取りましょう。

いちばん簡単で、効果の高い 予防方法は「塗装」です。



こまめな清掃や乾燥は、木材の劣化予防の基本。とはいってもすべての場所でそれを実行するのは難しく、また紫外線による被害などは掃除では防げません。実は木材を長く美しく保つための対策として、最も簡単で有効な方法は塗装です。昔から屋外の木部に塗装が施されてきたのは、見かけを美しくするためだけではなく、「木部を保護する」という大きな目的があったのです。

「木材を塗装する」 ことの効果



● ヤケを防ぐ

木材の表面を塗料で覆うことで、日光による変色を遅らせたり予防することができます。

● 木材を擦り傷から守る

塗装によって擦り傷や砂ぼこりによる傷などの物理的な被害を減らすことができます。

● カビや腐朽菌から守る

防腐・防カビ効果のある塗料でカビの胞子や腐朽菌の繁殖を防ぎます。

● 汚れを目立たなくする

着色することで、諸々の要因で生じる木材の汚れを目立たなくさせます。

シロアリ対策は専門業者に

住まいの木部被害の中でもシロアリによる食害は一般人には対応が難しいものの一つ。予防・駆除には専門家の豊富な経験と高度な技術が必要になります。シロアリ対策では、予防および早期発見が大切。羽アリを見つけたら、木部をたたくと空洞音がするなどの兆候があれば、すでに被害が発生している可能性があります。早急に信頼できる専門家にチェックしてもらい、被害の根源を撲滅しましょう。

シロアリ情報 club 発信中!!
www.shiroari-kujyo.jp



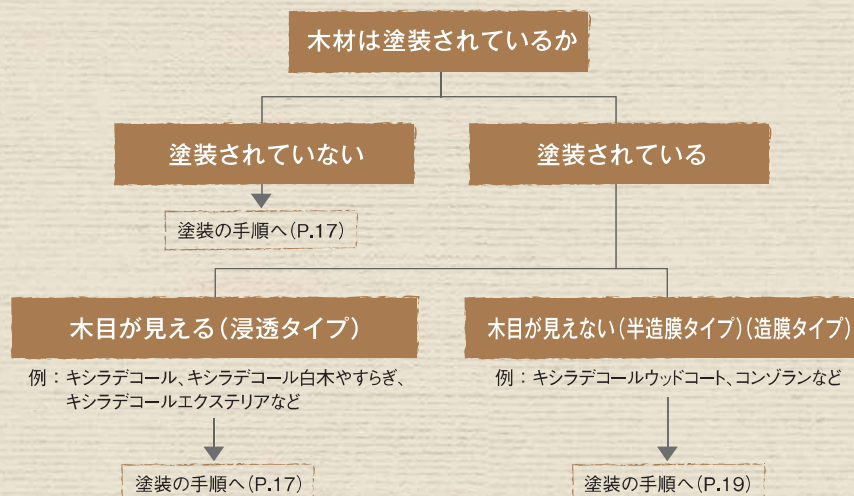
● 塗装・再塗装の必要性の目安

塗料の保護効果が低下したまま放置しておくと、部材そのものの取り替えなど、メンテナンスコストが高くなってしまいます。塗装面の傷み具合、立地条件、方角、建物の構造や木材の種類などによって変わります。右のチェックポイントのような症状が現れていたら、時期に関わらず再塗装が必要です。特に1回目の塗装を早めに行うことが、その後の耐久性向上に大きく影響します。

チェックポイント

- カビによる汚れが激しくなった。
- 雨水をはじかなくなってしまった。
- 塗膜のつや、光沢感が消えてきた。
- 塗装面の変色・退色が進んでいる。
- 塗膜がひび割れたり剥がれたりしている。

■ ケースに応じた塗料選び



● 浸透タイプ？ 造膜タイプ？



雨が降ったときに、色が変われば浸透タイプ。色が変わらなかったり、水をはじいたり(撥水性)した場合は造膜タイプの可能性があります。



造膜タイプは、古い塗膜を完全にはがす必要があります。

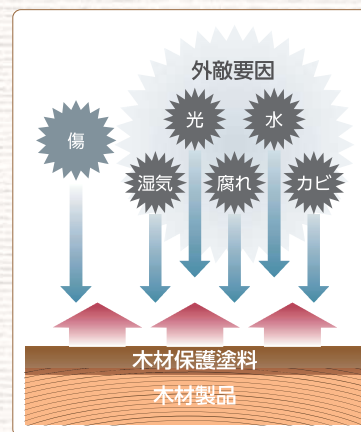
● 色を選ぶポイントは？

同系色の色を選ぶ場合は、元の色と同等か1ランク濃い色を選ぶのがポイントです。

木材保護塗料とは？

一口に「塗料」といっても多くの種類があります。そしてそのすべてが高い木材保護効果を持っているわけではありません。木材の保護という目的のためには、木材を劣化させるさまざまな原因に対応した成分を含んでいることが重要になります。「木材保護塗料」は、塗料が一般に持つ性能に加えて、防腐・防カビ・防虫などの効果のある特殊成分を配合した塗料です。

■ 木材保護塗料のはたらき

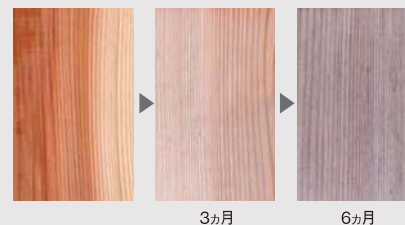


木材製品はガラスや鉄に比べると柔らかく、傷がつきやすい素材です。木材保護塗料には傷の防止をはじめ、「木材を外敵から守り、劣化を防ぐ」という大きな役目があります。新しい木材は光による変色や湿気の影響による劣化が起こりやすいですが、塗装によってこれらを予防したり、遅らせたりすることが可能です。また塗装によってカビや腐朽菌が水と一緒に木材に侵入するのを防ぎます。防腐、防カビ材が配合されたものを使用すれば効果はさらに高まります。

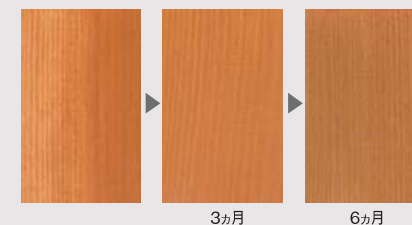
木材保護塗料が、木材を外敵から守り、劣化を防ぎます。

■ 無塗装と塗装済の比較

無塗装の場合



保護塗料を塗った木材



屋外曝露試験(南面30°/曝露6ヵ月)による促進耐候性の比較。無塗装の場合は、時間が経つにつれて灰化が進み、木もやせてしましますが、保護塗料を塗った木片では、ほとんど変化が見られません。

Q&A

お悩みを解決して、あなたも塗り方上手。



Q 業務用のキシラデコールとホームセンターなどで売られている家庭用キシラデコールは違うものでしょうか？

A 販売ルートや容量、缶のデザインが異なりますが、一色を除き中身は全く同じキシラデコールです。家庭用キシラデコールも業務用キシラデコールも原材料・仕上がり・耐久性などは同じです。家庭用は一般の方が使用されることが多いので、家庭用品品質表示法に基づき、使用方法をより詳しく解説し、容量を細かく設定しています。

※業務用の「キシラデコールやすらぎ」と家庭用の「キシラデコール白木やすらぎ」は異なります。業務用の「やすらぎ」はより透明感のある仕上がり、家庭用「白木やすらぎ」は塗り忘れ防止のため薄白色に仕上げるように設計しております。

Q 油性キシラデコールのニオイのものはなんですか？

A キシラデコールは塗装中や塗装後に石油系有機溶剤が揮発するため、乾燥するまでは溶剤のニオイがしばらく残ります。この溶剤は、ご家庭で使用される灯油と同じ成分のものであり、吸い込み続けると気分が悪くなることがあります。塗装が乾燥するまでは、できるだけ風通しを良くしてください。ニオイが気になる場合は、溶剤臭が少ない水性キシラデコールエクステリアをご使用ください。

Q 使用したキシラデコールの残りを保管して、後日使うことができますか？

A 使用後のハケなどの後始末は、乾かないうちに油性塗料用うすめ液でよく洗って陰干ししてください。残った塗料を保存する場合は、缶のふたをしっかり閉め、雨水、直射日光、高温、多湿、潮風をさけて保管してください（開封後はなるべく早くお使いください）。塗装後に残った塗料を廃棄する時、少量の場合は、ボロ布や新聞紙などに吸収させて十分水に浸してから処分してください。なお、多量の場合は、産業廃棄物として廃棄業者に依頼してください。塗料が染み込んだボロ布や新聞紙は、塗料が乾燥する過程で発熱・発火する危険性がありますので、必ず十分な水に浸して廃棄してください。（キシラデコール、キシラデコール白木やすらぎ、水性キシラデコールエクステリアが該当商品となります。）

Q キシラデコールカラレス（#101）の屋外での単独使用は、なぜいけないのでしょうか？

A キシラデコールカラレス（#101）は、有色キシラデコールの下塗り剤として設計されており、防腐・防カビ・防虫成分は含まれていますが、紫外線をカットする顔料が含まれておらず日焼けや変色を防止できないため、クリアーとしての単独使用はお避けください。

Q 油性キシラデコールの乾燥が遅いのはどうしてでしょうか？

A キシラデコールは他の塗料と比べて、乾燥が遅い原料が使われている分、長時間かけてじっくり塗料が浸み込むので、浸透性に優れています。乾燥までにかかる時間は気温や湿度など様々な条件に左右されます。気温が低いと乾燥は遅くなり、特に、5℃以下ではほとんど乾燥が止まってしまう。また湿度が高い（85%以上）と結露が発生し、塗装性が悪くなるばかりでなく、着色ムラなどの仕上がり不良を起こします。

Q キシラデコールはシロアリに効きますか？

A キシラデコールに使用されている防虫成分（ピレスロイド系薬剤）は、シロアリに対しても効果があると報告されております。しかしながら、確実にシロアリに影響を与えるほどの薬剤添加量には設計されておりません。そのため、シロアリに対する効果の有無はわかりません。シロアリには弊社シロアリ防除剤をおすすめいたします。詳細は下記をご覧ください。

シロアリ情報 club
<http://www.shiroari-kujyo.jp/>



Q 油性キシラデコールを塗装した箇所に、水性キシラデコールエクステリアで塗り替えはできますか？

A できます。ただし撥水性（水を弾く効果）が残っている場合はそのままでは塗れません。油性キシラデコールを塗装した箇所に水を落として弾く効果が残っていないことを確認した後にご使用ください。

Q カビで変色污染した木材にキシラデコールを塗った場合、カビの繁殖は止まりますか？

A キシラデコールでカビは止まりますが、キシラデコールを塗装する前にカビはなるべく取り除いてください。カビによる汚染変色を隠すには、濃色系の色をおすすめします。カビの汚れを取るには、市販の木材用カビ取り剤で処理してください。十分に水洗いと乾燥後キシラデコールを塗装してください。すでに木材が腐朽している場合は、木材を取り替えてください。